

# 新たな地方創生の実現に向けた 第3期三朝町まち・ひと・しごと創生推進会議

日時：令和7年2月21日（金）10:00～

会場：三朝町役場 第2会議室

---

## 【日 程】

1. 開 会
  2. 町長あいさつ
  3. 辞令交付
  4. 委員紹介(自己紹介)・・・【資料1】
  5. 議 題
    - (1) 総合戦略等の報告・説明
      - ・第2期総合戦略検証状況報告・・・【資料2・別表】
      - ・第3期総合戦略概要説明・・・【資料3・別表】【資料4】
      - ・その他トピックス・・・【資料5】
    - (2) 意見交換
    - (3) その他
  6. 閉 会
-

## 新たな地方創生の実現に向けた第3期三朝町まち・ひと・しごと 創生推進会議委員名簿

所 属 等	職名等	氏名（敬称略）	分野	備考
三朝温泉観光協会	会長	足立 浩範	産業	
三朝温泉旅館協同組合	理事長	岩崎 元哉	産業	
三朝町商工会	会長	福田 茂樹	産業	
三朝町農業委員会	会長	山本 雅之	産業	
鳥取県中部森林組合	代表理事組合長	加藤 栄隆	産業	
倉吉公共職業安定所	所長	荻原 晃	労働	
新日本海新聞社中部本社	記者	伊垢離 真奈	言論	
日本海ケーブルネットワーク倉吉放送センター	センター長	中嶋 信行	言論	
竹田地域協議会	会長	高見 昌利	地域	
三朝町教育委員会	地域コーディネーター	松浦 靖明	教育	
山陰合同銀行三朝出張所	出張所長	生田 純枝	金融	
鳥取銀行倉吉中央支店	支店長	小谷 和宏	金融	
倉吉信用金庫三朝出張所	出張所長	伊澤 茂雄	金融	
三朝郵便局	局長	塩谷 俊樹	金融	
西日本電信電話株式会社鳥取支店	課長	蛸積 仁丸	産業	
鳥取短期大学 生活学科 情報・経営専攻	准教授	三沢 英貴	教育	

## 【オブザーバー】

所 属 等	職名等	氏名（敬称略）	分野	備考
県中部総合事務所県民福祉局（三朝町担当コンシェルジュ）	参事	岸田 孝之	行政	

## 案

### 第 2 期「三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の検証

## ◆地方創生の現状

### 1 まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組み

国において、少子高齢化の進展への対応や、東京圏への人口集中の是正のため、まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)を制定し、令和元年12月20日には、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をそれぞれ閣議決定し、地方創生に取り組んできました。

そうした中、令和2年1月以降、世界的大流行(パンデミック)とみなされる新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、国民生活や経済活動を維持させる観点から、それまでデジタル化が進んでいなかった分野を含め、デジタルの活用を広げる必要性が高まりました。このため、令和4年12月には、国においてデジタル田園都市国家構想総合戦略が閣議決定され、地域の個性を生かしながらデジタルの力によって地方創生の取り組みを加速化・深化すべく、そのためのデジタル化を強力に推進することが示されました。

まち・ひと・しごと創生法第10条においては、市町村においても、国や都道府県の総合戦略を勘案し、地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生の基本的な計画を定める努力義務が明記されています。

本町においては、人口減少への対応を図るため、本町の人口の現状や将来展望を示した人口ビジョンと、人口ビジョンで示す将来展望を踏まえ、平成27年度から令和元年度までの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、令和2年度から令和6年度までの「第2期三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本町ならではの特性を活かした農林業をはじめとする産業振興、観光振興、移住定住の促進などを進めてきたところです。

### 2 社会情勢の変化

令和2年、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、日本においてもその影響を大きく受けました。緊急事態宣言も発令されたことから日常生活にも制限が加えられ、社会生活や経済活動が停滞する事態に見舞われました。本町でも、三朝温泉の旅館が一斉に休業するなど、かつてない状況に見舞われることとなりました。一方、人の移動の制限や人が密集することが避けられる状況下にあっては、テレワークやオンラインによる会議、ギガスクール構想による学校授業のデジタル導入が急速に普及し、働き方や学び方が従来の形から大きく変化しました。

このように、新型コロナウイルスの流行は、日常生活に大きな制限をもたらした一方、デジタル化を一気に加速させ、テレワークやオンラインショッピング、非接触型決済システムが普及するなどし、これまでの生活態様が大きく変化を遂げていくことになりました。政府においてもデジタル庁を設置し、行政サービスのデジタル化を推進するなど、社会全体が新たな構造へと移行する機運も浸透していました。

また、世界に目を向けると令和4年にはロシアによるウクライナ侵攻が発生し、世界的な物価高やエネルギー危機が引き起こされ、日本経済にも大きな影響を与えました。また、気候変動問題の深刻化に伴い、世界各国が脱炭素社会の実現に向けて取り組む中、日本においても持続可能な社会の実現が急務となっているところです。

このような状況を振り返ると、今後の日本社会は、デジタル化のさらなる進展、少子高齢化への対応、持続可能な社会の構築など、多くの課題に直面しながらも新たな時代を切り開くことが必須であるといえ、本町においてもその流れを受けながら、町の特性を最大限に活かした創生を今後も模索し、展開していくことが求められているといえます。

### 3 町の動き

令和2年度から世界に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、本町においてもその影響を大きく受けることになりました。特に観光産業を主産業とする本町にあっては、外国人観光客をはじめ、国内旅行者の激減により大打撃を受けました。その後、令和5年に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが第5類に移行されるまで、国や県からの支援も受けて感染症対策と誘客促進を軸にしながら、途切れることのない観光・商業振興施策を継続してきました。

また、令和2年度からは町全域のケーブルテレビネットワークを光化へと更新しました。これは、町をあげてのデジタル化を推し進めていくために必要なインフラ整備にもつながり、コロナ禍のなかでデジタルや通信の需要が高まったタイミングでの整備となったこともあり、テレワークやオンライン会議などが町内どこにいても実施できる環境を整えることができました。

そして、本町では令和6年に新たに三朝小学校校舎が完成し、町の児童にとって新たな学び舎での生活を送っています。児童数の減少に機に議論が始まり、学校統合を経て迎えた新校舎。将来を見据えた学び舎では、町の未来を担う児童一人ひとりが今日も豊かな教育環境のなかで成長をとげているところです。こうした教育環境の充実がはかられることは、町の魅力を底上げになり、子育て世代に選ばれる町へとつながっていくこととなります。

加えて、令和4年から進めてきた温泉を活用した健康まちづくり事業も本格化しているところです。天与の恵である三朝温泉を健康増進の取り組みと融合させるこの事業では、これまで温泉効能の普及啓発、温泉入浴と運動の連携を進めてきているところです。今後は、これらの事業に磨き上げをかけ、さらに新たな日帰り入浴等施設の整備を進めていくこととし、三朝温泉を町民にとっての誇りに、町外の方にとっては憧れのものとなるように展開を図っていくこととしています。

一方、この期間においては激甚的な災害にも見舞われることもありました。本町では、平成30年に鳥取中部地震を経験し、日常から自然災害への備えを進めてきたところではありますが、その後も令和3年7月には豪雨災害、また令和5年8月には台風7号によって大きな被害をもたらしたところです。こうした自然災害への備えは怠ることなく、安全と安心を確保できるまちづくりを進めていくことは、例え人口減少社会の中にあっても重要な位置付けとなります。デジタル化、人口確保に向けた取り組みはもちろん、災害に強いまちづくりの必要性が高まっているといえます。

## 4 人口減少と少子高齢化

日本の人口減少は、少子高齢化と人口構造の変化によって引き起こされています。日本の人口減少に関する主要なポイントを次のとおり整理しました。

### 「現状の概要」

総人口の減少： 日本の総人口は平成20年をピークに減少傾向にあります。令和2年の国勢調査によると、日本の総人口は約1億2600万人ですが、今後も減少が続くと予測されています。

出生率の低下： 日本の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子どもの平均数）は約1.4人で、人口置換水準（約2.1人）を大きく下回っています。

高齢化の進行： 高齢者（65歳以上）の割合は増加しており、令和2年には約28%に達しています。これは世界でも最も高い水準です。

### 「人口減少の原因」

少子化： 結婚年齢の上昇、経済的不安、子育て支援の不足などが要因といわれ、出生率が低下しています。

高齢化： 医療の進歩により寿命が延び、高齢者の割合が増加しています。

都市部への移住： 多くの若者が都市部に移住するため、地方の人口減少が顕著です。

### 「人口減少の影響」

経済への影響： 労働力の減少により経済成長が鈍化し、社会保障費の増大が財政に負担がかかることとなります。

社会インフラの変化： 学校や公共施設の統廃合、医療・福祉サービスの需要増加などが発生します。

地域社会の変化： 地方の過疎化が進行し、地域コミュニティの維持が困難になる場合があります。

### 「将来の見通し」

人口推計： 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2050年には日本の総人口は約1億人を下回ると予測されています。

高齢化の進行： 2060年には高齢者の割合が約40%に達すると予測されています。

#### 対策と取り組み

子育て支援の充実： 保育所の増設、育児休業の拡充、子育て支援金の増額など。

働き方改革： 労働環境の改善や女性の社会進出の促進。

## 5 「人口対策の必要性」

### ① 人口減少に対する危機感の高まり

2014年5月に日本創生会議・人口減少問題検討分科会が発表した「ストップ少子化・地方元気戦略」の地域が消滅する可能性に関する分析結果は、多くの地方公共団体や地方関係者に強い衝撃を与え、人口減少に対する危機感が高まることとなりました。

### ② 人口減少が地域経済社会に与える影響

地方においては、地域社会の担い手が減少しているだけでなく、それに伴い消費市場が縮小し地方の経済が縮小するなど、様々な社会的・経済的な課題が生じています。この状況が継続すると、人口減少が地域の経済の縮小を呼び、経済の縮小が更に人口減少を加速させるという負のスパイラルに陥ることとなります。特に中山間地域や農山漁村などにおいては、日常の買い物や医療など地域住民の生活に不可欠な生活サービスの維持・確保が困難になるおそれがあります。

### ③ 人口減少に早急に対応すべき必要性

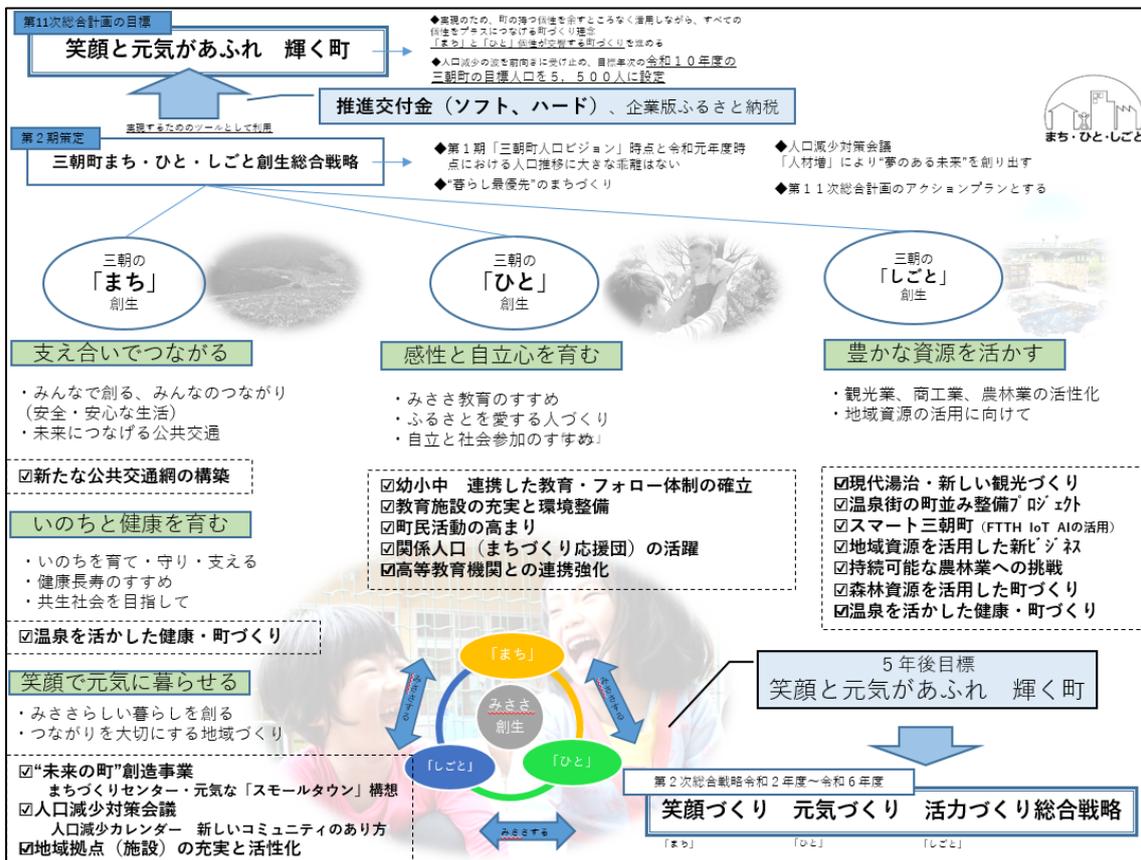
人口減少に歯止めをかけるには長い期間を要します。仮に出生率が向上し人口置換水準で一定となったとしても、数十年間の出生数を決める親世代の人口は既に決まっているため、人口規模が概ね安定して推移するまでには数十年を要することとなります。それでも、対策が早く講じられ、出生率が早く向上すればするほど、将来人口に与える効果は大きくなります。このような全国的に高い高齢化率は本町においても例外ではなく、加えて若者世代の人口流出と晩婚化、出生数の低下もあり、町の人口は昭和30年の11,372人ピークに、令和2年に実施された国勢調査では6,060人まで減少しています。また、出生数については人口がピークだった昭和30年頃から平成になるまでは年間100人程度あったものの、以降は徐々に減少していき、近年になると令和3年には24人、令和4年には17人、令和5年には15人と、減少傾向も進んでいるところです。これらの状況を少しでも克服するためにも、本町が掲げる「子育てするなら三朝町で」のとおり、子育てしやすい環境整備や教育と連携した取組みなど子育て世帯にとって魅力ある施策の継続、発展が今後も重要となります。

# 三朝町推計人口統計表

作成：令和7年1月  
三朝町役場企画健康課

	2025	2030	2035	2040	2050
総人口(人)	5,514	5,044	4,616	4,207	3,450
2024年4月 総人口 5,806人 生産人口 2,797人 高齢者人口 2,448人	2025年 高齢者 2,331人(42.3%) 後期高齢者 1,333人(24.2%)	2030年 高齢者 2,191人(43.4%) 後期高齢者 1,319人(27.6%)	2035年 高齢者 2,011人(43.6%) 後期高齢者 1,396人(30.2%)	2040年 高齢者 1,909人(45.4%) 後期高齢者 1,286人(30.6%)	2050年 高齢者 1,675人(48.6%) 後期高齢者 1,073人(31.1%)
2023年～ 年少人口(~14才): 560人(10.2%) 生産年齢人口: 2,623人(47.6%)	2030年～ 年少人口(~14才): 479人(9.5%) 生産年齢人口: 2,374人(47.1%)	2040年～ 年少人口(~14才): 388人(9.2%) 生産年齢人口: 1,910人(45.4%)	<small>※国立社会保険・人口問題研究所作成階級別推計人口参照</small> <small>※中学生は12~14才、小学生は6~11才、幼稚園児は0~5才人口を参照</small> <small>※年少人口内訳は子ども支援室作成人口推計資料参照</small>		
年少人口内訳	2025年 中学生:142人(2.6%) 小学生:253人(4.6%) 保育園児:133人(2.4%)	2030年 中学生:134人(2.7%) 小学生:147人(2.9%) 保育園児:88人(1.7%)	2035年 中学生:71人(1.5%) 小学生:96人(2.0%) 保育園児:75人(1.6%)	2040年 中学生:44人(1.0%) 小学生:77人(1.8%) 保育園児:78人(1.9%)	
2020年(確定値) 農業従事者数:338人	2025年 農業従事者数:243人	2030年 農業従事者数:175人	<small>※2020年農林業センサス参照(60日以上農業に従事した人数)</small> <small>※初期人口は2020年農林業センサス、推移率は2015年から2020年にかけての値を参照し指数成長モデルを用いて算出</small>		

【第2期三朝町まちひとしごと創生総合戦略の概略図】



## ◆重要業績評価指標（KPI）と達成状況

第2期「三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、第1次三朝町総合計画のアクションプランとして位置付け、分野別将来像にもとづいて展開してきたところです。

### 分野別将来像1 感性と自立心を育む町

- 基本事業1-1 みささ教育のすすめ
- 基本事業1-2 ふるさとを愛する人づくり
- 基本事業1-3 自立と社会参加のすすめ

### 分野別将来像2 支えあいでつながる町

- 基本事業2-1 みんなで創る、みささのつながり（安全・安心な生活）
- 基本事業2-2 未来につなげる公共交通

### 分野別将来像3 いのちと健康を育む町

- 基本事業3-1 いのちを育て・守り・支える
- 基本事業3-2 健康長寿のすすめ
- 基本事業3-3 共生社会を目指して

### 分野別将来像4 豊かな資源を活かす町

- 基本事業4-1 観光業・商工業・農林業の活性化
- 基本事業4-2 地域資源の活用に向けて

### 分野別将来像5 笑顔で元気に暮らせる町

- 基本事業5-1 みささらしい暮らしを創る
- 基本事業5-2 つながりを大切にする地域づくり

## 分野別将来像 1 感性と自立心を育む町

学校、家庭、地域で手を携え、共に頑張る人づくりを進めます。

「まち」の創生、「ひと」の創生、「しごと」を創生するために、最も重要になるのは「ひと」の創生です。三朝町では、三朝スタイルの地方創生を進めていき、第11次三朝町総合計画で描く未来を実現させるために人材育成に関する取り組みを加速させていきます。

- ◇学校教育の充実
- ◇次代を担う人づくりの推進
- ◇文化芸術の振興
- ◇生涯学習の振興
- ◇スポーツの振興
- ◇協働による地域の活性化

### 基本事業 1-1 みささ教育のすすめ

#### 【事業の方向性】

- ◎豊かな自然環境や人の輪をはじめとする“みささの良さ”を活かし、確かな学力を身に付け、運動能力を向上させ、人を大切にする温かい心を醸成します。

#### 【具体的施策】

- 小学校の統合を契機とした魅力ある学校づくりを行うとともに、幼児期から中学校までの連携と本町の特色を活かした教育の実施
- 子どもたちが主体的に学ぶ意欲と態度の育成、特別な支援が必要な子ども一人ひとりの状況に応じた教育、こども園、保育所、小学校、中学校間のつながりのある連携した教育に取り組み、確かな学力を確保
- 予測困難な未来社会に向け、子どもたちに情報社会で生き抜く力を身に付けさせるため、授業におけるICT教育環境を充実させ、理論的思考力や課題解決能力、ICT機器を自由に活用できる能力を育成
- 芸術や文化に触れ豊かな感性を育むとともに、他人の痛みや悲しみを理解する優しい心と協調性を育み、不登校児童生徒を含めた児童生徒の悩みに対応する体制を整え、子どもたちの豊かな心を醸成
- 子どもの発達段階を考慮しながら、体力や運動能力の向上を目指し、運動に親しむ楽しさを育成するとともに、食育や健康教育の充実に努め、家庭や地域と連携しながら健やかな身体を育成
- 本町の産業、歴史、文化、自然環境への理解を深め、ふるさと三朝町に誇りと愛着を持つ心を育成
- 観光・交流の町としての特性を教育に活かす取組みを推進し、外国語教育の充実をはじめ、国内外との交流を通じて、社会で活躍する人材を育成
- 学校、家庭、地域、行政が、それぞれの立場で連携を図り、地域が一体となって学校を支援する「教育コミュニティづくり」を推進

- 充実した教育活動を実践するため、学校施設づくりと放課後における子どもたちの快適な居場所づくりの実施
- 安定した学校運営と教職員の資質の向上を通じて、すべての子どもが安心して教育を受けられる体制づくりを推進

### 基本事業 1-2 ふるさとを愛する人づくり

#### 【事業の方向性】

- ◎温かな笑顔でつながる“みささ”の中で、地域の若者がふるさとの良さを再認識し、「ふるさと三朝」の未来を共に考え、行動していきます

#### 【具体的施策】

- 「青少年の健全育成」に向けて、新たな体制づくりを検討するとともに、地域における活動の場として、体験交流活動やボランティア活動に参画できる仕組みを創設
- 家庭、地域、行政が一体となり、老若男女が楽しみながら参加できる学びの機会を創設
- 家庭が本来の役割を果たし、親と子がともに成長していけるよう、家庭や地域における学習機会の充実化
- 広報や啓発活動などを通じ、青少年の健全育成に関する情報提供を行うことによって、町ぐるみで青少年を支援していく取り組みを推進
- 住民の地域活動への参加と世代間交流・異年齢交流を進め、地域に対する理解を深め、町に誇りと愛着を持った人材の育成を実施
- 関係団体と連携しながら、文化芸術団体の育成を図るとともに、多様化するニーズに対応するため、文化芸術活動に携わる新たな指導者を確保
- 町民参画と協働、教育の視点から、総合芸術祭を開催し、町民が気軽に本物の芸術文化に触れることのできる環境の構築
- 町内の文化施設と周辺市町にある施設、建設予定の県立美術館などと連携した取り組みを推進
- 廃れつつある手仕事を発掘、復活

### 基本事業 1-3 自立と社会参加のすすめ

#### 【事業の方向性】

- ◎町民が自主的に学び続けることのできる環境を創り、防災、福祉、地域づくりへの活動に協働で取り組んでいける環境を創ります。

#### 【具体的施策】

- 社会情勢の変化や地域の特性、町民ニーズを的確に捉えながら、町の特色を活かした新しい学びの場を創出
- 共育に取り組める体制を構築するため、学校、家庭、地域、民間団体、町内事業者と

## 連携

- 学校教育と連携しながら、地域の歴史などをよく知る高齢者から学びを受けられる機会を創出

## 分野別将来像2 支え合いでつながる町

生活の安全、地域の安全、町民の安心をみんなで創り上げます。

町民一人ひとりが互いに互いを支えあえる関係を築き上げ、防災・減災対策、地域での見守り活動、持続可能な公共交通サービスの構築などを実現させていき、すべての人が安全で安心して暮らせる「まち」を創生します。

- ◇消防、防災体制の充実
- ◇安全・安心の地域づくり
- ◇公共交通の確保
- ◇安定した水供給と適正な排水処理
- ◇安全で円滑な地域道路網の確保

### 基本事業2-1 みんなで創る、みささのつながり（安全・安心な生活）

#### 【事業の方向性】

- ◎防災体制の充実を推進するにあたり、近年は大規模化、回数の増加傾向にある自然災害に対応できるよう、家族や地域で自主防災体制（自助・共助）を整備します。

#### 【具体的施策】

- 集落・地域単位での防災研修及び訓練の実施
- 消防団員確保に向け、青年層、女性、町内事業所勤務者の加入促進
- 子どもや高齢者に対する地域での見守り活動を推進
- 空き家放置のリスクを回避するため、管理不全家屋の除却支援策を充実させるほか、空き家の有効活用

### 基本事業2-2 未来につなげる公共交通

#### 【事業の方向性】

- ◎将来を見据えた持続可能な公共交通サービスの構築に向けていきます

#### 【具体的施策】

- 町民の生活を支える移動手段として、新たな公共交通体制を検討し、試行をしながら持続可能な公共交通サービスを構築
- 公共交通に先端技術を駆使した自動運転サービスの実証実験を実施

### 分野別将来像 3 いのちと健康を育む町

子どもから高齢者まで、健康で元気に暮らすことのできる、誰にでも優しい町を目指します。

人生100年時代と言われる昨今、いつまでも元気に暮らすことができ、活躍できる体制を整備し、未来を担う子どもたちのために、すべての「ひと」が希望をもって出産、育児を実現できる「まち」をつくります。

- ◇子育て環境の充実
- ◇地域福祉の推進
- ◇地域医療体制の充実
- ◇高齢者福祉の充実
- ◇健康づくりの推進
- ◇障がい児・者福祉の充実

### 基本事業 3-1 いのちを育て・守り・支える

#### 【事業の方向性】

- ◎子育て環境の充実と、地域で育った子どもたちが次代の町を支えることにつながる取り組みを進めます
- ◎地域福祉の充実化を図るため、共に支えあうことができる「まち」づくりを進めます
- ◎町民それぞれの疾病や介護などの状況に応じ、安心して適切な医療・介護サービスを受けられる体制の確立を目指します

#### 【具体的施策】

- 質の高い保育や幼児期の教育ニーズに応じた子育て支援事業の展開を図ります（子ども・子育て支援事業計画に基づく施策実施）
- 切れ目のない子育て支援実現のため、子育て情報ポータルサイトコンテンツを充実させ、子育て世代が必要な情報を積極的に発信
- 子どもの健やかな成長発達と、子育て期の親の心身の健康管理に関する支援体制を充実
- 妊娠期から産後にかけて母子の健康管理において、相談体制を強化
- 誰もが身近に集い、気軽に話ができ、相談ができる交流活動を実施
- 疾病対策・重症化予防、介護予防など「予防」に重点を置いた事業を展開
- 町民それぞれの疾病や介護などの状況に応じ、安心して適切な医療・介護サービスを受けられる体制を構築

### 基本事業 3-2 健康長寿のすすめ・共生社会を目指して

#### 【事業の方向性】

- ◎高齢者、障がい者の分け隔てなく、誰もが元気に自分らしく地域での生活がおくることが出来る「まち」を目指します

◎スローガン「増やそう元気、減らそう病気」を実現させる

**【具体的施策】**

- 要介護状態になるまでの対策を重要視し、関係機関と連携しながら健康づくりを推進
- 三朝温泉病院、岡山大学などと連携し、三朝温泉の泉質が持つ健康効果の活用と運動を取り入れた新たな健康増進プログラムを創設、実践
- 「町民の元気づくり」を目指して町民自らが健康に対する意識を持ち、官民連携のもとでライフステージに応じた健康づくり事業を展開

## 分野別将来像 4 豊かな資源を活かす町

### みささの持つ特色ある地域資源を有効に活用し、輝き続ける町を目指します

町の主要産業である「観光業」、「商工業」、「農林業」の継続的な発展のため、時代のニーズを的確にとらえながら、「みささブランド」の確立に向けていきます。そして、既にある仕事とICT技術の連携を積極的に行い、魅力ある「しごと」創生を進めます。

- ◇観光の町の推進
- ◇商工業のにぎわいづくり
- ◇農林業のにぎわいづくり
- ◇文化財の保存と活用
- ◇産業の振興

## 基本事業 4-1 観光業・商工業・農林業の活性化

### 【事業の方向性】

- ◎三朝温泉を中心とした観光資源、豊かな自然環境、魅力的な農産物、価値ある文化財を互いに連携させながらみささならではの魅力づくりを進めます。
- ◎国内外からの観光客、地元消費による経済効果を十分に活かせる体制を構築し、ブランド確立に向けます。
- ◎新たな担い手確保対策を展開し、持続可能な産業の実現を図る。
- ◎森林資源を後世に残していくため、適切な活用と整備を進めていきます。

### 【具体的施策】

#### (全般)

- 人手不足の解消、スキルの継承への課題等へ対応できるよう、分野ごとにICT技術の活用を推進
- Society 5.0時代の到来を住民の利便性向上や負担減、さらには町の飛躍につなげるため、ローカル5Gなどの先端技術を導入し、町の持つ魅力を掛け合わせた取り組みを実施
- 温泉街を核としながら、隣接するエリアの役割を明確化（ゾーニング）するための調査を実施

#### (観光業)

- 健康志向の高まりを受け、時代のニーズに即した現代湯治推進プランを見直す
- 既存の連携体制にとどめず、都市部の企業等も視野に入れた、より広域的な連携を進めることで新たな観光振興を実施
- 増加傾向にあるインバウンドへの対策を充実させ、ソフト面を中心とした受け入れ体制を整備（案内やメニューの多言語化、キャッシュレス決済対応、情報発信、アクセス対策、誘客促進など）

#### (商工業)

- 地域の産業を支える事業者を支援するとともに、新たな外部活力の導入を模索する

- など検討を進めていき、事業継承につながる対策を実施（継業対策）
- 空き店舗を活用した取り組みを推進し、新たな出店や事業拡大へ意欲ある方を支援（農林業）
  - スマート農業へ向けた取り組みを推進するため、実証実験を行う団体等を支援
  - 三朝米や神倉大豆など、今ある特産品の磨き上げと販路拡大、担い手の育成を継続させながら、新たな発展へとつなげる
  - 森林資源有効活用に向け、関連機関と連携し、新たな森林経営管理制度・森林環境譲与税を活用した取り組みを実施

#### **基本事業 4-2** 地域資源の活用に向けて

##### **【事業の方向性】**

- ◎三徳山投入堂、ジンショなどの文化財をはじめ地域に伝わる伝統文化を掘り起こし、新たな付加価値を創造していき、町の魅力を拡充
- ◎学校跡地の利活用、町内光ファイバー化を最大限に有効活用し、産業振興を図る

##### **【具体的施策】**

- Society 5.0時代の到来を住民の利便性向上や負担減、さらには町の飛躍につなげるため、ローカル5Gなどの先端技術を導入し、町の持つ魅力を掛け合わせた取り組みを実施（再掲）

## 分野別将来像 5 笑顔で元気に暮らせる町

“みささスタイル”で充実した暮らしを創ります。

人口減少、少子高齢化、過疎化の課題があるなかでも、課題解決に向かい、町民が力を合わせて楽しく持続可能な三朝の暮らしを創造することが必要です。

幅広い世代で取り組む地域づくり、コミュニティの再生など、人と人のつながりを活かし、“みささスタイル”での「まち」創生を進めます。

- ◇多様な暮らし方への応援
- ◇環境保全と廃棄物の減量化
- ◇共につながり活力あるコミュニティ
- ◇国内、国際交流の推進
- ◇町づくり応援団の充実
- ◇情報発信と共有の推進
- ◇広域的な連携と計画的な行政運営

### 基本事業 5-1 “みささらしい暮らし”を創る

#### 【事業の方向性】

- ◎人との出会い、交流を通じて豊かな三朝町での暮らしを実現します。そして、豊かな暮らしを町外へ向けて積極的に発信することにより、町を「知ってもらおう」、「来てもらおう」、「関わりを持ってもらおう」、「住んでもらおう」へと関係性を上げていきます

#### 【具体的施策】

- 関係人口拡大を図るため、まずは町を知ってもらえるよう、町の情報発信を積極的に実施
- 空き家の利活用を進め、町に滞在できるスポットを創設
- 地域と連携した体験交流型プログラムを策定
- 温泉熱の利活用も視野に、再生可能エネルギーの研究を進めていき、環境にやさしいまちづくり構想を立案

### 基本事業 5-2 つながりを大切にする地域づくり

#### 【事業の方向性】

- ◎集落や地域における人のつながりを再生し、三朝の温かい暮らしを守っていきます。

#### 【具体的施策】

- これまでの地域づくりの在り方を見直し、地域協議会の役割の再定義、地域協議会制度の新たな枠組みの構築を検討
- 地域づくり、担い手育成・確保、仕事マッチング、移住定住相談などをワンストップ

で受け付け、対応できるような拠点を整備

## ◆評価区分

第2期三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価にあたり、達成状況における評価区分を次のとおりとし、これに基づいて検証作業を行いました。

【表：評価区分と達成状況】

評価区分	達成状況
達成	100%
順調	80%以上
やや遅れている	50%以上80%未満
遅れている	20%以上50%未満
未達成	20%未満
未評価	現状値が判明していないもの

### ◇全体

第2期「三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、第11次三朝町総合計画のアクションプランとして位置付け、密接な関係をもたせることとし、目指す街の将来像は同様に定めています。また、それらを達成するために、重要業績評価指標（以下、「KPI」とする）も合わせて決めました。

KPIは全体で43項目あり、その結果は次のとおりです。なお、目標の「達成」及び80%以上の達成状況を示す「順調」については全体の46%であり、50%未満の達成状況を示す「遅れている」及び20%未満を示す「未達成」については、16%となりました。

評価 項目数	達成	順調	やや遅れている	遅れている	未達成	未評価
43	9	11	15	3	4	1

### 1 感性と自立心を育む町

【KPIと達成状況】

基本事業	重要業績評価指標(KPI)	令和6年実績	目標	評価区分
1-1 みさき教育 のすすめ	将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合	小学生 86.6% 中学生 68.2%	小学生 80% 中学生 85%	順調
	自分には、よいところがある と思う児童生徒の割合	小学生 100% 中学生 88.6%	小学生 95% 中学生 85%	達成
	運動やスポーツをすることが 「好き」と回答した児童生徒 の割合	小学生 91.5% 中学生 62.6% ※R5 数値	小学生 70% 中学生 55%	未評価

	「人の役に立つ人間になりたいと思うか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童生徒の割合	小学生 100% 中学生 97.7%	小学生 100% 中学生 100%	順調
	「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対して、肯定的な回答をした割合	小学生 100% 中学生 84.1%	小学生 100% 中学生 80%	達成
1-2 ふるさとを 愛する人づ くり	地域づくりワークショップ参加者	200人	100人	達成
	ボランティア活動参加者	30人	50人	やや遅れている
	総合芸術祭の開催	0回	1回/年	未達成
	地域協議会活動の参加者数	4,000人	5,500人	やや遅れている
	地域協議会活動の新たな取り組み	5件	6件	順調

【検証総括】

- ◆小学校児童が新三朝小学校に通学開始【令和6年10月】
- ◆国の進めるGIGAスクール構想実現に向け、1人1台タブレット端末を小中学校に整備し、活用を開始【令和2年～】
- ◆全区長を対象に、集落の困り感などの実態調査を行い、その結果を基に、地域づくりの議論（地域協議会の在り方検討会）を展開【令和4年度から】
- ◆芸能・文化ウィークと称して、町文化団体連絡協議会主催の芸能文化祭、町民作品展、初開催となる「三朝町将棋フェスティバル」、町民による竹灯り作品展「晩秋の竹灯路」など文化芸術に関するイベントを期間中に集中して開催
- ◆町民の健康増進を目的とし、温泉を活用した仕組みの構築を進めるため、町民が温泉について知る・考える機会となるよう温泉を活用した健康まちづくりシンポジウムを実施【令和5年度】

2 支え合いでつながる町

【KPI と達成状況】

基本事業	重要業績評価指標(KPI)	令和6年実績	目標	評価区分
2-1 みんなで創	消防団員数	274人	330人	順調
	管理不全家屋数	90戸	100戸	順調

る、みささの つながり	空き家利活用数	11 件	15 件	やや遅れて いる
	支え合いマップ作成集落	3 集落	10 集落	遅れている
2-2 未来につな げる公共交 通	みささサンサンバス利用者数 (3路線の月平均)	333 人	364 人	順調

【検証総括】

- ◆計画どおりバス路線の見直しを行い、令和3年10月から自家用有償旅客運送による町営バスの運行を開始。新交通体制を構築した【令和3年度】
- ◆年々、増加の一途を辿る空き家問題について、外部委員による空き家等対策協議会を設置し、横断的な施策を展開
- ◆「自らの命は自らが守る」という意識の醸成と実際の避難行動がとれるように地元の地域協議会等と連携して防災訓練を行った【令和5年度】

3 いのちと健康を育む町

【KPI と達成状況】

基本事業	重要業績評価指標(KPI)	令和6年実績	目標	評価区分
3-1 いのちを育 て・守り・支 える	待機児童数	0 人	0 人	達成
	保育士全体研修実施	2 回/年	2 回/年	達成
	子育てポータルサイトアクセス数	2,505 件/月平均	4,000 件/月平均	やや遅れて いる
	婚姻届数	6 件/年	30 件/年	未達成
	出生数	19 人/年	30 件/年	やや遅れて いる
3-2 健康長寿の すすめ・共生 社会を目指 して	集いの場（サロン）開設場所数	14 か所	28 か所	やや遅れて いる
	ラドン体操開催場所数	5 か所	11 か所	遅れている
	介護保険認定率	20.30%	20.00%	やや遅れて いる
	介護ボランティア登録者数	19 人	25 人	やや遅れて いる

【検証総括】

- ◆NCN（ケーブルテレビ）でラドン体操を放送し、コロナ禍でも家で介護予防体操ができる環境をつくった
- ◆町独自の取組として、三朝温泉病院と連携して産後の母体をケアする産後ケア健診を実施。身体負担の軽減を図ることで、心身共に安定して育児できる環境を整えることが目的。受診率は100%
- ◆サロン以外に新たな集いの場の一つとしてショッピングデイサービス事業を3集落で実施
- ◆子ども公園の整備に向けて子育て世代へのニーズアンケート調査の実施、町民ワークショップを実施した【令和5年度】

4 豊かな資源を活かす町

【KPI と達成状況】

基本事業	重要業績評価指標(KPI)	令和6年実績	目標	評価区分
4-1 観光業・商工業・農林業の活性化	農業産出額	71 千円	95 千万円	やや遅れている
	担い手農家数	28 経営体	33 経営体	順調
	森林整備面積	100ha	750ha	未達成
	事業所数	125 件	204 件	やや遅れている
	観光入込客数	370,000 人	451,000 人	順調
	外国人宿泊者数	15,000 人	23,300 人	やや遅れている
	熱気浴施設利用者数	4,600 人	4,800 人/年	順調
4-2 地域資源の活用に向けて	三徳山入込客数	130,000 人	80,000 人年間	達成
	観光入込客数	370,000 人	451,000 人	順調
	地域BWA設置数	0	1	未達成
	ケーブルテレビ加入者数(光化事業完了後)	2,102 件	2,200 件	順調

【検証総括】

- ◆令和2年度の幹線工事に引き続き、令和3年度では宅内切替工事を実施、令和4年度には、旧設備の撤去工事を実施・完了【令和2年度～】

- ◆今後の三徳山の誘客を促進する環境整備（三徳山遥拝所の移転新設（鳥取県））を実施
- ◆高収益作物の産地化を目指しブロッコリー試験栽培（初夏採り）の実施。試験の結果を基にした栽培指導を行い栽培振興を実施証事業を実施【令和4年度】
- ◆農作業の効率化を高めるドローン・アシストスーツの普及、導入を図ることを目的に実証事業を実施【令和4年度】
- ◆「天然ラドン熱気浴泉 すーは一温泉」ご来館1万人達成を記念し、セレモニーを実施した【令和5年度】
- ◆日本遺産三徳山三朝温泉を守る会で駐車場清掃活動や三徳山参道の修復を目的とした山護運動、三佛寺本堂を会場に三徳山フォーラムを開催した【令和5年度】
- ◆三朝温泉を活用した健康まちづくり事業を展開【令和4年度～】

## 5 笑顔で元気に暮らせる町

### 【KPI と達成状況】

基本事業	重要業績評価指標(KPI)	平成30年実績	目標	評価区分
5-1 “みささら しい暮らし”を創る	SNSフォロワー数	2,340件	4,000件	やや遅れている
	空き家バンク登録件数	16件	16件	達成
	相談件数	40件	20件	達成
	空き家活用件数	11件	7件	達成
	ふるさと納税の件数	3,000件	4000件	やや遅れている
5-2 つながりを 大切にする 地域づくり	まちづくり交付金活用件数 (住民グループ)	3件	8件	遅れている
	まちづくり交付金活用件数 (集落)	1件	2件	やや遅れている
	地域協議会協働事業件数	2件	3件	やや遅れている

### 【検証総括】

- ◆研修をオンラインで実施（主会場が町総合文化ホール、リモート会場に竹田地区公民館、三徳センター、バンビセンター）するなど、新たな取り組み方を模索した
- ◆とっとり暮らしアドバイザーを2名任命【令和4年度】
- ◆町制70周年に合わせ、町勢要覧のリニューアル版を発行した【令和5年度】
- ◆空き家利活用の促進を図るため、とっとり空き家利活用推進協議会と共催の「空き家利活用シンポジウム in 三朝」を開催した【令和5年度】
- ◆中間管理事業者を導入し、寄附者のニーズに対応するため返礼品目の増加、新規開拓

サイト数の増加を図った【令和5年度】

## 第2期三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標

## ◆分野別将来像1 感性と自立心を育む町

## 基本事業1-1 みささ教育のすすめ

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標年次数値	達成状況
「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童生徒の割合	小学生 81.6% 中学生 73.3%	小学生 79.3% 中学生 75.1%	小学生 72.3% 中学生 70.9%	小学生 95.6% 中学生 60.8%	小学生 86.6% 中学生 68.2%	小学生 90% 中学生 90% 小学生 80% 中学生 85% (R4 修正)	小学生 達成 中学生 順調
「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童生徒の割合	小学生 91.6% 中学生 90.0%	小学生 86.8% 中学生 81.3%	小学生 91.5% 中学生 75.0%	小学生 93.3% 中学生 92.8%	小学生 100% 中学生 88.6%	小学生 90% 小学生 95% (R5 修正) 中学生 85%	小学生 達成 中学生 達成
「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」という質問に対して、「好き」と回答した児童生徒の割合	-	-	小学生 63.3% 中学生 42.0%	小学生 91.5% 中学生 62.6%	-	小学生 90% 中学生 80% ↓ 小学生 70% 中学生 55% (R5 修正)	未評価

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童生徒の割合	小学生 98.3% 中学生 98.3%	小学生 100% 中学生 98.0%	小学生 97.9% 中学生 95.8%	小学生 100% 中学生 91.1%	小学生 100% 中学生 97.7%	小学生 100% 中学生 100%	小学生 達成 中学生 順調
「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対して、肯定的な回答をした割合	小学生 91.6% 中学生 70.0%	小学生 79.2% 中学生 79.2%	小学生 72.4% 中学生 50.0%	小学生 77.8% 中学生 73.2%	小学生 100% 中学生 84.1%	小学生 100% 中学生 80%	小学生 達成 中学生 達成

基本事業1-2 ふるさとを愛する人づくり

項目					R 6年度（見込）	目標年次数値	達成状況
地域づくりワークショップ参加者	50人	66人	0人	120人	200人	100人	達成
ボランティア活動参加者	20人	23人	20人	29人	30人	50人	やや遅れている
総合芸術祭の開催	0	0回	0回	0回	0回	1回/年	未達成
地域協議会活動の参加者数	838人	869人	1,730人	4,400人	4,000人	5,500人	やや遅れている
地域協議会活動の新たな取り組み	1件	3	3件	5件	5件	6件	順調

## ◆分野別将来像2 支えあいでつながる町

### 基本事業2-1 みんなで創る、みささのつながり（安全・安心な生活）

項目					R 6 年度(見込)	目標年次数値	達成状況
消防団員数	309 人	307 人	302 人	287 人	274 人	330 人	順調
管理不全家屋数	80 戸	78 件	88 戸	106 戸	90 戸	<del>80 戸</del> ↓ 100 戸 (R4 修正)	順調
空き家利活用数	4 件(売買 3 件、家財処分 1 件)	7 件(賃貸 3 件、売買 1 件、家財処分 3 件)	9 件	3 件	11 件	<del>7 件</del> 15 件(R4 修正)	やや遅れている
支え愛マップ作成集落	0 集落	0 集落	2 集落(4 班)	2 集落	3 集落	10 集落	遅れている

### 基本事業2-2 未来につなげる公共交通

項目					R 6 年度(見込)	目標年次数値	達成状況
みささサンサンバス利用者数(3 路線の月平均)	-	3 6 4 人	364 人	354 人	333 人	<del>420 人</del> 364 人 (R4 修正)	順調

### ◆分野別将来像3 いのちと健康を育む町

#### 基本事業3-1 いのちを育て・守り・支える

項目					R6年度(見込)	目標年次数値	達成状況
待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	達成
保育士全体研修実施	2回/年	1回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	達成
子育てポータルサイトアクセス数	3,814件/月 平均	4,523件/月 平均	3,344件/月 平均	2,528件/月 平均	2,505件/月 平均	4,000件/月 平均	やや遅れている
婚姻届数	11件/年	11件/年	6件/年	9件/年	6件/年	30件/年	未達成
出生数	20人	24人	19人/年	15人/年	19人/年	30件/年	やや遅れている

#### 基本事業3-2 健康長寿のすすめ・共生社会を目指して

項目					R6年度(見込)	目標年次数値	達成状況
集いの場(サロン)開設場所数	23か所	23か所	15か所	15か所	14か所	28か所	やや遅れている
ラドン体操開催場所数	6か所	6か所	5か所	5か所	5か所	11か所	遅れている
介護保険認定率	20.87%	20.86%	20.20%	20.04%	20.30%	<del>19.20%</del> 20.00%	やや遅れている
介護ボランティア登録者数	19人	19人	23人	23人	19人	<del>35人</del> 25人	やや遅れている

#### ◆分野別将来像4 豊かな資源を活かす町

##### 基本事業4-1 観光業・商工業・農林業の活性化

項目					R6年度(見込)	目標年次数値	達成状況
農業産出額	2021年6月 15日公表 (R01年数 字) 80千万円	77千万円 (R2 確報値 R4.3.29 公 表)	75千万円	71千万円	71千万円	70.5千万円 95千万円 (R2修正)	やや遅れてい る
担い手農家数	30経営体	29経営体	29経営体	29経営体	28経営体	33経営体	順調
森林整備面積	148ha	156ha	235ha	207.50ha	100ha	750ha	未達成
事業所数	193件	121件	121件	121件	125件	204件	やや遅れてい る
観光入込客数	246,244人	198,977人	269,392人	318,188人	370,000人	451,000人	順調
外国人宿泊者数	1,689人	32人	1,723人	9,613人	15,000人	23,300人	やや遅れてい る
熱気浴施設利用者数	1,870人	3,086人	3,626人	3,338人	4,600人	4,800人/年	順調

##### 基本事業4-2 地域資源の活用に向けて

項目					R6年度(見込)	目標年次数値	達成状況
三徳山入込客数	33,026人	25,041人	97,311人	128,973人	130,000人	80,000人	達成
観光入込客数	246,244人	198,977人	269,392人	318,188人	370,000人	451,000人	順調

地域BWA設置数	0	0	0	0	0	1	未達成
ケーブルテレビ加入者数(光化事業完了後)	-	2163	2,137件	2,115件	2,102件	2,200件	順調

◆分野別将来像5 笑顔で元気に暮らせる町

基本事業5-1 ”みささらしい暮らし”を創る

項目					R6年度(見込)	目標年次数値	達成状況
SNSフォロワー数	FB 373 Twitter 1,840	2,323 FB 550 Twitter 1,773 ※R4年3月末 時点	2,291件	2,329件	2,340件	4,000件	やや遅れている
空き家バンク登録件数	9件	8件	13件	14件	16件	16件	達成
相談件数	12件	12件	26件	33件	40件	20件	達成
空き家活用件数	4件(売買3 件、家財処分 1件)	5件(売買2 件、家財処分 3件)	9件	3件	11件	7件	達成
ふるさと納税の件数	1,118件	1,597件	1,020件	1,896件	3,000件	<del>700件</del> 4000件 (R4修正)	やや遅れている

基本事業5-2 つながりをお大切にする地域づくり

項目					R6年度(見込)	目標年次数値	達成状況
まちづくり交付金活用件数 (住民グループ)	0件	2件	2件	2件	3件	8件	遅れている
まちづくり交付金活用件数(集落)	0件	0件	0件	0件	1件	2件	やや遅れている
地域協議会協働事業件数	1件	0件	5件	5件	2件	3件	やや遅れている

## 第3期三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

第3期となる三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、新たな地方創生の実現に向け、策定します。その際、第2期戦略の基本姿勢である第1次三朝町総合計画との密接な関係を持たせ、アクションプランとして稼働させることとします。

なお、国において、令和5年度に策定された「デジタル田園都市国家構想総合戦略」で示されたデジタル技術の活用、令和7年夏を目途に国が策定予定の「地方創生の基本構想」で示される最新の情報を反映し、三朝町ならではの個性や魅力を生かすための三朝版総合戦略を作り上げていきます。

〈当面の予定〉 ※別表スケジュールを参照

3期戦略策定を令和7年秋とし、それまでの期間は2期戦略を延長し、各種施策を稼働させる

〈構成〉

次のイメージをもとに策定に向けた作業を進めます。

### 基本方針(案)

- 人口が減っても、笑顔と元気があふれる町
- デジタルで豊かなみささくらしの実現
- 「国や県が示すキーワードをもとに設定」

KGI

- ・人口目標5500人
- ・住んでいてよかったと思う人の割合
- ・デジタルによる課題解決
- ・キーワードをもとに設定

笑顔  
「まち」  
の創生

#### 支えあいにつながる

- ・みんなで創る、みんなのつながり  
(安全・安心な生活)
- ・未来につなげる公共交通

#### いのちと健康を育む

- ・いのちを育て・守り・支える
- ・健康長寿のすすめ
- ・共生社会を目指して

元気  
「ひと」  
の創生

#### 感性と自立心を育む

- ・みささ教育のすすめ
- ・ふるさとを愛する人づくり
- ・自立と社会参加のすすめ

#### 笑顔で元気に暮らせる

- ・みささらしい暮らしを創る
- ・つながりを大切にする地域づくり

活力  
「しごと」  
の創生

#### 豊かな資源を活かす

- ・観光業、商工業、農林業の活性化
- ・地域資源の活用に向けて

策定に向け、委員の皆様をはじめ所属される団体への聞き取りや意見交換等にご協力をお願いします。

新たな地方創生の実現に向けた第3期三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定までのスケジュール

資料3別表

検証作業		1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月						
目次	作業項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下							
検証	各課照会																																		
	取りまとめ																																		
	報告					21日																													
	整理																																		
延長	期間延長<☆1>									第2期三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略を延長																									
策定	各課照会																																		
	各種調査<☆2>																																		
	国・県の動向<☆3>			☆																地方創生の基本構想策定(国)															
会議	推進会議					21日																													
	委員意見反映																																		
まとめ	パブコメ																																		
	戦略確定<☆4>																												策定						

**【特記事項】**

- ☆1・・・国や県の最新の動きを反映することで、より効果的なアクションプランとするため2期戦略を延長する
- ☆2・・・町民や町内出身の学生を対象としたアンケート調査等を実施し、幅広く意見を収集する
- ☆3・・・『石破内閣発足：令和6年10月』、『鳥取県産官学金労言師士による県民会議：令和7年1月』、『地方創生の基本構想策定(国)：令和7年夏』
- ☆4・・・国や県の動向を捉え、最新の情報を反映させ、三朝町版の第3期総合戦略を令和7年秋策定を目指す

## 第3期三朝町まち・ひと・しご創生総合戦略における主要事業(案)

第3期戦略の計画期間となる令和7年度から令和12年度における主要事業について、現時点で各課からの回答結果は以下のとおりです。今後、国や県が示す情報を踏まえ、各課との調整を進め、作り上げていきます。

## 1 感性と自立心を育む町

保小連携による確かな子どもの育ち【町民課】

GIGA スクール第2期の推進【教育総務課】

多様な高等教育機関との接続を目指した小中連携の段階的強化【教育総務課】

常にアップデートされた教育設備による最適な学習環境の維持・発展【教育総務課】

施設の近接化を活かした学び合い、関わり合える園小中連携の充実【教育総務課】

図書館DXの推進【図書館】

## 2 支えあいでつながる町

消防DX、防災DX体制の充実【危機管理局】

地域における防災意識の普及・啓発及び取り組みの促進【危機管理局】

安全・安心の地域づくり【危機管理局】

スマート三朝町の実現（マイナンバーカード・キャッシュレス・AIの活用）

【企画健康課】

公共交通のキャッシュレス導入【企画健康課】

## 3 いのちと健康を育む町

豊かな感性を育む子育て・保育環境の整備【町民課】

温泉を活用した健康まちづくり【企画健康課】

## 4 豊かな資源を活かす町

観光の町の推進【観光交流課】

商工業の賑わいづくり【観光交流課】

持続可能な農林業への挑戦【農林課】

森林資源を活用した町づくり【農林課】

現代湯治・新しい観光づくり【観光交流課】

## 5 笑顔で元気に暮らせる町

町づくり応援団の充実【観光交流課】

地域拠点(施設)の充実と活性化【企画健康課】

学校跡地施設等の利活用【企画健康課】

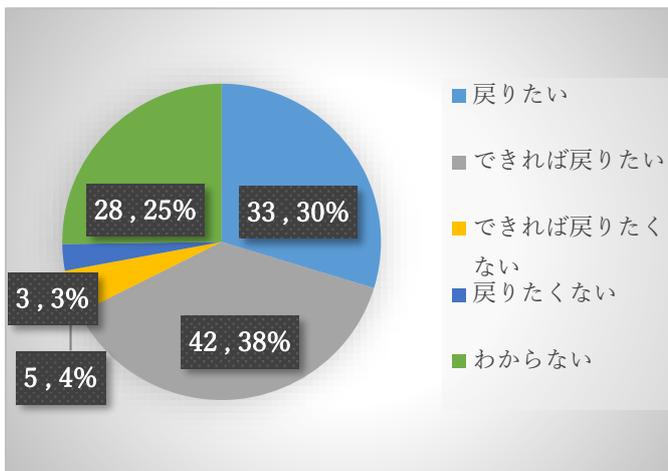
## 大学生等に対するアンケート調査 2025 の実施について

町では、現在大学等に通う学生を対象としたアンケート調査を実施しているところですが、

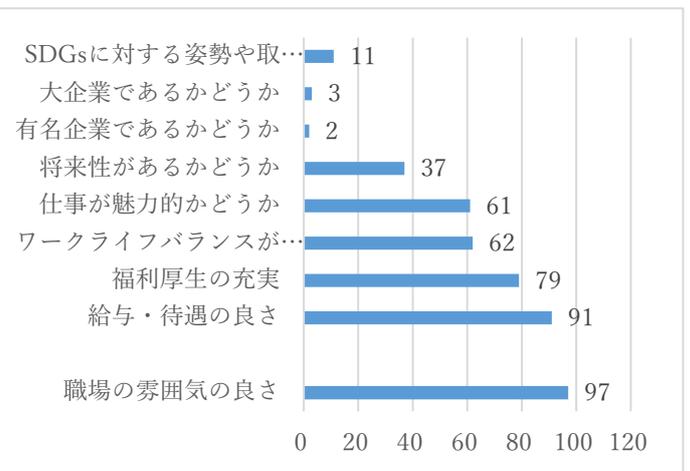
現在も回答を受け付けているところであり、集計・分析の途中段階ではありますが、報告いたします。(2/20 時点 110 名)

## 主な設問と回答

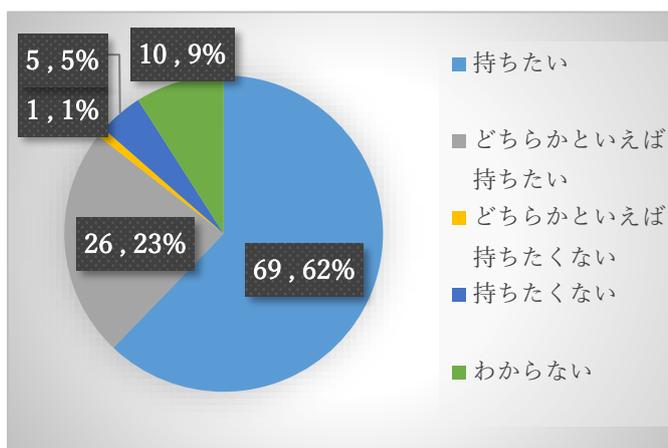
○将来、鳥取県に帰りたと思うか



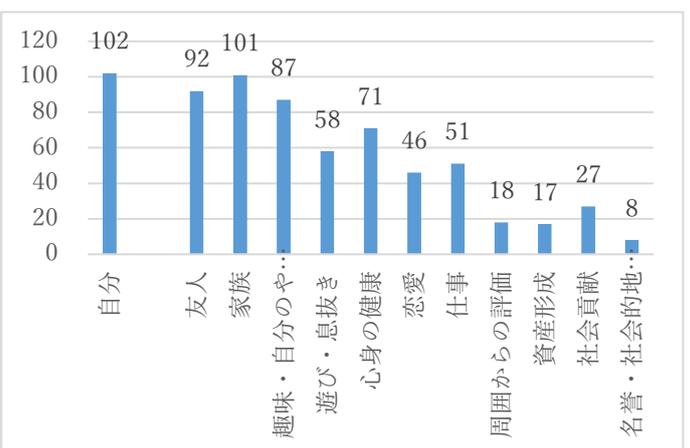
○仕事を選ぶ際に重視することは何か



○将来、子どもを持ちたいと思うか



○人生において大切にしたいこと



## 今後

詳細分析をすすめ、年度末には改めて結果を報告する予定としています。

## 国立社会保障・人口問題研究所による推計の比較

〈ポイント〉

- ・減少傾向は大きな変化はみられない。
- ・最新推計では 2030 年頃から生産年齢人口における減少が緩やかになっている

